

ダム事業

再評価原案準備書説明資料

幾春別川総合開発事業

令和3年度
北海道開発局

確認後：2,112億円

◇幾春別川総合開発事業の総便益

- ⑥便益（洪水被害）2,113億円 -- 治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化
- ⑦便益（流水の正常な機能の維持）448億円 -- 身替り建設費を算出、現在価値化
- ⑧便益（残存価値）46億円 -- 治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化

⑨総便益【B】 2,607億円（現在価値化） -- ⑨=⑥+⑦+⑧

確認後：2,606億円

事業全体

- ◆費用便益比 (B/C) 2,607億円 / 2,203億円 = 1.2
- ◆純現在価値 (B-C) 2,607億円 - 2,203億円 = 404億円
- ◆経済的内部収益率 (EIRR) 4.8%

確認後：403億円

残事業

- ◆費用便益比 (B/C) 2,208億円 / 479億円 = 4.6

確認後：2,207億円

感度分析

	事業全体のB/C	残事業のB/C
◆事業費 (+10% ~ -10%)	(1.2 ~ 1.2)	(4.3 ~ 5.0)
◆工期 (+10% ~ -10%)	(1.1 ~ 1.2)	(4.5 ~ 4.7)
◆資産 (-10% ~ +10%)	(1.1 ~ 1.3)	(4.2 ~ 5.0)

※計画変更（予定）を反映した上で、費用対効果分析を実施しています。

※B/C算定に用いている総費用及び総便益については、消費税相当額を控除しています。